



平成27年6月17日  
海上保安庁

## 夏季期間におけるマリレジャー安全推進活動の実施について

～ 飲酒等による事故の減少を目指して～

海上保安庁では、例年、7月、8月に集中するマリレジャー活動に伴う事故を未然に防止するとともに死者・行方不明者を減少させるため、関係機関と連携して全国でマリレジャー安全推進活動を実施します。

特に注意してもらいたい事項、活動期間、主な実施事項は以下のとおりです。

### < 注意事項 >

#### 海水浴客に対する注意事項（別添1「配布用リーフレット」参照）

飲酒後の遊泳はしない

飲酒による判断力、運動能力などの低下により、死亡事故の危険性が高まる

保護者は小さな子供から目を離さない

溺れている時には声は出せない。お子さんが静かになった時が要注意!!

#### プレジャーボート等操船者に対する注意事項（別添2「配布用リーフレット」参照）

酒酔い運転の禁止、見張りの徹底、発航前点検の励行、気象情報・水路情報等の情報収集  
基本的事項を遵守することで事故防止

花火大会観覧後の事故に注意（不慣れな海域での夜間における航行）

見張りの徹底、事前の水路調査、安全な速力で事故防止

### 活動期間

平成27年7月1日（水）から8月31日（月）までの2ヶ月間

### 実施事項

#### 海浜事故防止

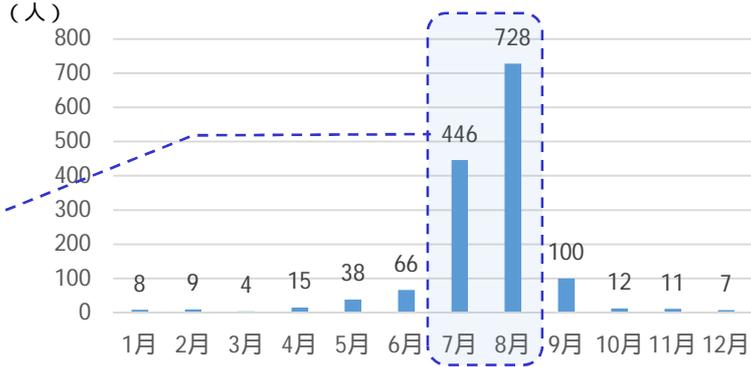
- ・海上保安官による海水浴場の巡回指導の実施
- ・教育機関と連携した若年齢層の事故防止のための安全講習会の実施
- ・地元自治体・関係機関と連携した安全対策の実施
- ・遠隔地から来訪するマリレジャー愛好者の存在を考慮し、ラジオ等のメディア、高速道路サービスエリアでの安全に関する周知・啓発活動の実施 等

#### プレジャーボート等の事故防止

- ・巡回やしょう戒、海難防止講習会において発航前点検、適切な見張り、ライフジャケットの着用などの遵守事項に関する指導の実施
- ・ボート販売店などにおいて水上オートバイ及びミニボートに対する安全指導の実施
- ・マリナー及びマスコミ等を通じた花火大会観覧船に対する安全指導の実施

## 海水浴中の事故の傾向

海水浴中の事故発生状況（平成22年～平成26年）



7月・8月の2か月に海水浴中の事故が集中(約8割)

## 海水浴に関する主な注意点

### 飲酒後の遊泳は危険

飲酒をすると判断能力や運動能力などが低下し、事故に遭う危険性が高まります。特に、「ほろ酔い」状態が最も危険です。

飲酒後の遊泳はダメ!!



### 小さな子供から目を離さない

騒いでいた子供が静かになったら要注意!!

### 悪条件の海での遊泳中止判断

波が高い、風が強いと感じる場合など遊泳条件が良くないときは、無理をせずに遊泳を中止しましょう。

### 遊泳禁止場所では泳がない

急な深みや流れが速い場所など、危険な場所があるので遊泳禁止なのです。遊泳はやめましょう。

### 離岸流に注意

沖に向かう流れに注意しましょう。もし流れに入り込んでしまった場合は、慌てず岸と平行に泳ぎましょう。

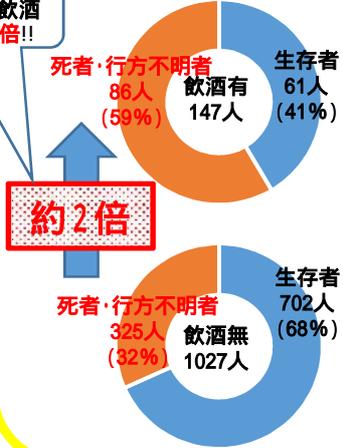
### 体調管理を万全に

睡眠不足、疲労蓄積、病気による体調不良の状態では、判断能力や運動能力が低下し、遊泳中の事故に遭う危険性が高まります。体調を整えて泳ぎましょう。

遊泳中の事故では、飲酒無と比較すると飲酒有の死亡率は約2倍!!

すいせい  
**酔泳**  
危険

遊泳中の事故における  
飲酒をしていた事故者の死亡率  
(平成22～26年7月～8月)



## 事故事例

### 【飲酒後に発生した事故事例】

ビール、日本酒等を飲酒後、酩酊状態で海に入った事故者3名のうち1名が沖合いに流され、気付いた2名が救助に向かったが、3名とも沖合いに流された。同行者がライフセーバーに救助を求め、約50分後に3名とも救助された。

### 【子供から目を離した際に発生した事故事例】

母親等と海水浴に訪れた事故者(6歳)は、母親等が目を離した際に深みにはまり溺水した。同行者により発見・救助されたが、呼吸がなく、付近男性が心肺蘇生法を実施し、意識を取り戻した。

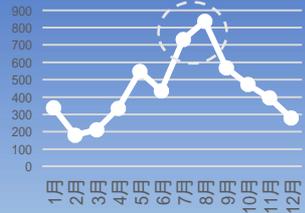
一般的には、溺れている人はドラマや映画のように“助けて～”と叫んだり、手を振ったり、バシャバシャ暴れたりできないと言われています。「子供から目を離さない」ことが大切です。



# 要注意

夏季期間（7，8月）は、**花火大会**や各種**イベント**が開催され、マリンレジャーが活発になることから、**事故**も**多発**しています。

月毎の船舶事故隻数（過去5年間）



## プレジャーボート等の事故防止対策

プレジャーボート等とは、プレジャーボート、遊漁船をいう。

### 酒酔い運転の禁止

飲酒運転による事故は、飲酒しない場合と比べて死傷事故率が4倍

【事件事例】

水上オートバイを飲酒後に操船したため、操縦を誤って岩場に衝突した。操船者が投げ出され頭部強打により死亡した。



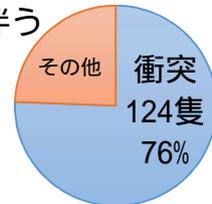
### 見張りの徹底

死傷者を伴う事故の多くは、見張り不十分による衝突事故  
花火大会観覧後は、夜間のため状況判断が難しくなる

【事件事例】

花火観覧のため家族を乗せ航行中、消波ブロックに気づくのが遅れ衝突した。

死傷者を伴う  
事故種類

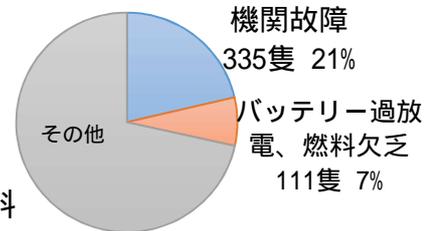


### 発航前点検の励行

機関故障、バッテリー過放電、燃料欠乏は、発航前点検で防止

【事件事例】

沖釣りを終え帰港中、燃料フィルタの目詰まりにより、燃料が遮断され、突然エンジンが停止し航行不能となった。

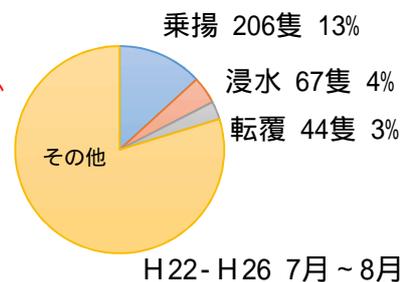


### 気象情報、水路情報等の情報収集

乗揚、浸水、転覆は、事前にMICS、海図等により気象情報、水路情報を収集して防止

【事件事例】

水上オートバイで遊走中に、天候が悪化したことから帰港していたところ、大波を受け転覆し、機関が浸水したため航行不能となった。



### 小型船船長の遵守事項

酒酔い操縦等の禁止、見張りの実施、発航前点検の実施、ライフジャケット等の着用、免許所有者の自己操縦、危険操縦の禁止、事故時の人命救助

### MICS（沿岸域情報提供システム）を活用しよう！

MICSは、プレジャーボート、漁船等の船舶運航者やマリンレジャー愛好者の方々に対して、全国各地の灯台等で観測した気象現況や航行に注意を要する海域、エンジントラブル時の対策など、海の安全に関する情報を提供しています。



（平成27年7月からスマホ用サイトが正式運用スタート）